

なのほな たより

NANOHANA
DAYORI

老健ちば

No. **77**
October 2014



INDEX

①

フォーカス「老健ちば」

一般社団法人

千葉県老人保健施設協会

設立記念式典開催

〈事務長会報告〉

〈在宅復帰支援研修会〉

③

〈特集 こうほうレポート〉

「千葉県初

サテライト型小規模介護老人保健施設

あつとほーむ習志野」

〜ケアセンター習志野との取り組み〜

⑤

〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ

「季節を感じること...」

やすらぎの郷

君塚節(事務職員)

研修委員会

研修委員会の新メンバーです！



⑦

〈なのほなスマイル〜施設の笑顔紹介〉

●クレオ

●梨香苑

〈老健ちばカレンダー〉

〈編集後記〉

<http://www.chiba-roken.jp/>

平成26年10月27日 発行

●発行者/一般社団法人 千葉県老人保健施設協会 ●編集者/広報委員会

●〒262-0042 千葉県千葉市花見川区花島町149-1 TEL:043-250-7352 FAX:043-286-0661

一般社団法人 千葉県老人保健施設協
設立記念式典



平山会長挨拶



記念講演(空野理事長)



懇親会



会場受付



式典全体

フォーカス 老健 ちば

一般社団法人千葉県老人保健施設協会 設立記念式典 開催!!

当会は平成26年4月1日、一般社団法人の取得に伴い「千葉県老人保健施設協会」と名称を変更し、この度8月26日(火)に京成ホテルミラマールにおいて一般社団法人の設立記念式典を開催いたしました。

当日は、県内外の関係団体の方々に来賓にお招きし、多数の会員施設の方々に参加をいただきました。

はじめに村上副会長の開会のことばで始まり、平山会長より今後

の千葉県老人保健施設協会についての挨拶がございました。その後、来賓を代表として全国老人保健施設協会副会長様、千葉市保健福祉局高齢障害部長様、千葉県医師会会長様よりご祝辞をい

いただきました。

記念講演では、社会福祉法人サンライフ/社会福祉法人サンレジヨン理事長の空野暉尚氏に「少子高齢化社会をトータルサポートする」をテーマに、法人が運営している事業の内容やこれからの施設の在り方について講演をいただきました。

記念講演終了後は、会場を移動して梶原副会長の開会、乾杯の挨拶で懇親会が行われ、当会の更なる発展を確信し終了いたしました。

平成26年度事務長会

地域包括システム構築に向けた老健施設の役割



事務長会報告

平成26年7月24日(木)ホテルポルトプラザちばにおいて、57施設62名の参加者の下、「平成26年度事務長会」が開催されました。

今回は講師に、公益法人社団全国老人保健施設協会副会長、平川博之先生をお迎えし、「地域包括システム構築に向けた老健施設の役割」と題し、現場に即した貴重なご講義をいただきました。

平川先生は、ご自身も八王子で精神科クリニック、介護老人保健施設の理事長として活躍されており、また全老健副会長として、厚労省に老健の実情や要望などを訴え、来年の改正に向けて積極的に動いていらっしゃる。



今回の講義では「地域包括システムの構築に向けた老健の役割」がテーマでしたが、まずはなぜ今「地域包括システム」なのかというところからのお話でした。少子化が進み、若い世代が高齢者を支えきれない、介護保険、医療保険はパンク状態という中、高齢者が自立して過ごすためには、自助・互助・共助が必要であり、老健としてそこを意識してケアすることが重要ではないかとのことでした。

また平成27年度介護報酬改定の動向についても触れられました。24年の改正後の在宅復帰強化型、在宅支援加算型施設の割合は年々増えており、すでに30%以上の施設が移行している状況です。ただ移行後の収支状況を見ると、稼働率の低下や人員強化の影響か、それほど増収している施設は少ないようです。

平川先生曰く、在宅復帰だけではない老健の機能、つまり「看取り」「医療」「リハビリ」「認知症対応」「アウトリーチ」等が地域包括システムにおける老健の機能であり、具体的には、訪問リハビリテーションや介護予防サロン等があると仰っていました。

最後に介護の人材問題についても触れられ、「キャリア段位制度」における評価や、アセッサ（評価者）の養成状況等教えていただきました。

講義の後、恒例の地域別グループ討議が行われ、近隣施設の事務長と有意義な情報交換を行いました。

在宅復帰支援研修会

平成26年9月26日(金)ホテルポルトプラザちばロイヤルにおいて、「在宅復帰支援研修会」が開催され、30施設48名の方が出席されました。

講師には、在宅強化型老健フロリール調布の副施設長、阿部正博氏をお迎えし、「在宅強化型老健の在り方と考え方」について講義していただきました。

午後には、4名ずつ12グループに別れ、各加算の振り分けをデイスカッションしました。加算の分類を行うことで、どの職種が何の加算に係っているのかを、再認識することができました。また事例検討では、入所期間の設定、リスクの予測、サービスイコンなどをグループごとに具体的に考え発表し、実際の在宅困難ケースを在宅に向けていくテクニックを学びました。





千葉県初

＊ サテライト型小規模介護老人保健施設 「あっとほーむ習志野」

～ケアセンター習志野との取り組み～



和やかにすすむ取材



地域のニーズにこたえ、拡大を繰り返す

ケアセンター習志野は平成12年に入所定員100名で開設しました。福祉施設が立ち並び習志野市秋津にある、市内唯一の介護老人保健施設です。開設当初から増床計画をし、平成16年には100床増床し、入所定員200名、デイケア定員100名で運営しています。そして、平成24年4月にサテライト型小規模介護老人保健施設あっとほーむ習志野を習志野市大久保に開設しました。入所定員29名、デイケア定員40名の施設です。

＊ あっとほーむ習志野と ケアセンター習志野の連携

大規模で歴史のあるケアセンター習志野は、習志野市唯一の介護老人保健施設として地域の高齢者の生活を支えてきました。

あっとほーむ習志野では入所定員29名に対し2名の夜勤者を配置しています。看護職員1名、介護職員1名の合計2名の日もあります。看護職員1名、介護職員2名で夜勤をする日もあるので、利用者の方が入院となり、退院後再入所される際には、身体状況によりあっとほーむ習志野に戻れない場合、ケアセンター習志野での受け入れも行っています。

入所判定会議はケアセンター習志野、あっとほーむ習志野が合同で週に2回開催し、利用者の状態によってはケアセンター習志野での受け入れを指定すると伺いました。ひとりひとりの状態に応じて安心して利用できる対応をしています。

デイケアについては居住地域で受け入れ施設を決めていると伺いました。



張り切ってリハビリ



吹き抜けから



スイカ割り



大盛況の納涼祭

地域にひらかれた 小規模施設の利点を生かして



あつとほーむ習志野の入っている建物は、1階に習志野市の公共施設である市民プラザ大久保とデイケアフロア、2階が入所フロア、3階がスタッフフロアと多目的フロア等が配置されている複合施設になっています。

市民プラザは多目的ギャラリー・スタジオ・交流スペースがあり、毎日多くの市民が足を運ぶ、開放的なスペースです。市民に開放された建物の中にサテライト施設がある事で、地域住民に親しみやすい印象を受けました。

小規模施設の利点を生かし、利用者と職員が一緒に生活を楽しむ中で、自然とリハビリが実施できている様子を垣間見ることができました。

ドライブなどの外出レクリエーションが気軽に行える事も、小回りが効く小規模施設の利点であると伺いました。

最初にケアセンター習志野へ伺い、大規模施設のパワーに圧倒されました。その後、あつとほーむ習志野へ案内して頂き、親切で丁寧な説明を受けました。両施設ともスタッフの皆様のおかげで温かい対応に感激しました。

取材にお邪魔した際は、直後に納涼祭が予定されており、利用者や職員が力を合わせて準備していました。手作りの作品があふれる、その名の通りあつとほーむな空間に私達広報委員会のメンバーは癒され、すっかり長居をしてしまいました。

お忙しい中、長時間対応して下さいました鈴木事務長はじめスタッフの皆様ありがとうございました。



ケアセンター習志野

住所：習志野市秋津3-5-2
電話：047-453-5111
定員：入所/200名 通所/100名

あつとほーむ習志野

住所：習志野市大久保4-2-11
電話：047-470-1051
定員：入所/29名 通所/40名



スタッフの皆様

研・修・会・報・告

施設ケアマネジャー研修会

◆平成26年9月12日(金)、51施設64名の参加でホテルポトプラザちばにて開催

(講師)介護老人保健施設せんだんの丘
施設長 土居勝幸氏



介護支援専門員
梅岡 みどり
(やすらぎ)

今回、自立支援に基づく個別ケアの徹底を開設当時から展開して地域支援をしている「せんだんの丘」の土井施設長の講義に参加し、最新の政策的な動き・なぜ今在宅復帰施設へのシフトをしているのか・今後の老健の役割など実によくわかりやすく、理解することができました。在宅強化型の老健が増えている中で自分の施設が該当していないと実状はわからないことが多くありましたが、話が進むにつれ、求められる役割の大きさに身が引き締まる感もありました。グループワークではケアプランの課題について話し合いましたが、施設ケアマネとはいえ兼務・専任の違いもさることながら施設が在宅強化型か従来型かによっても利用者を取り巻く環境の違いを強く感じました。住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けるための支援を考えたとき地域や住民との連携や協働を目指し、どう支援していけるのか? いくべきか? 多職種と共にできることから始めていきたいと思います。ありがとうございました。

老健における生活リハビリ研修会

◆平成26年9月19日(金)、37施設56名の参加で京葉銀行文化プラザにて開催

(講師)介護老人保健施設桜の郷敬愛の杜
作業療法士 田尻進也氏



理学療法士
有江 進一郎
(龍岡ケアセンター)

研修会に参加して、生活リハビリの具体的なアプローチや認知症の方への対応、考え方を学ぶことができました。講師をしていただいた田尻さんの説明もわかりやすくアットホームな雰囲気でした。また、グループワークの合間に座学もしていたが、症例や事案の検討が濃密にできたと思います。

普段、業務をしていると流してしまうようなこと、利用者の方々の訴え、現象などに対して専門的な視点から対応を考え、他職種がチームとなって支援をしていくことが大切だと痛感いたしました。とても刺激になることが多く、これまでの自分の視点を見直すべき所が浮き彫りになったと思います。今後は、この研修会に参加した内容を実際に試していこうと考えています。このような貴重な研修会を開催していただきありがとうございます。

ターミナルケア研修会

平成26年8月18日



「ターミナルケア研修会」が千葉県教育会館で開催され、38施設73名が参加されました。講師に社会福祉法人登別千寿会理事 事菊地 雅洋氏を迎え「介護老人保健施設におけるターミナルケアの視点」をテーマにターミナルケアの在り方や各専門職の役割について講義をしていただきました。

第2回新人職員研修会

平成26年9月30日



(火)に、「第2回新人職員研修会」がホテルポトプラザちばで開催され、32施設54名が参加されました。

講師は、介護老人保健施設ロータスケアセンター 副施設長 川端 心氏より「介護保険制度と介護老人保健施設」「介護老人保健施設のケア」をテーマに介護保険制度と介護老人保健施設における機能や役割の理解、高齢者の特徴や認知症の症状、感染症対策及び、ターミナル等に必要となるケアを講義していただきました。

リチウムイオンバッテリー(蓄電)システム

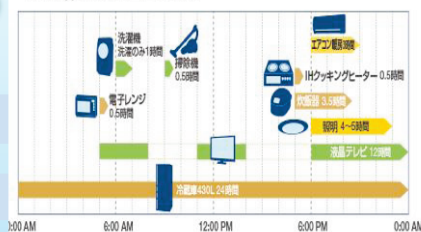
非常時に備えて電気を蓄える。
照明器具・TV・携帯機器充電など
万が一の停電時でも安心!



日産リーフ搭載で安全性は実証済!

- ・大容量12kWh!
- ・小型、安全、大容量

例えばこれだけの電気製品を使うことが出来ます。こんなに使えるのはフォーオールだけ!



品番: EHB-240A030
製造元: 4R Energy Corporation

お問合せ・ご用命はお気軽に!

株式会社サンヨーシステムズ

東京都台東区上野5-3-1 TEL:03-3833-1231
Ecoソリューション営業部 担当: 榎本

<http://www.sanyosystems.co.jp/>

当社取扱商品: 家電・空調・冷凍機・太陽光発電・ラントリ-機器・オゾン消臭器

『季節を感じること・・・』

やすらぎの郷 君塚節(事務職員)

ここ数年異常気象により、各地で災害にみまわれていますこと、お見舞い申し上げます。

幸いなことに当施設の地域では穏やかな時が流れており、田んぼの稲も刈りだされ本格的な秋が訪れようとしています。

夏から秋にかけて、近隣地区では

祭りの時期となりました。そんな中、当施設では介護職員によって

みことな《神輿》が作成されました。主にダンボールで作られています。お隣の町では、お城祭りやダンボールの「甲冑」を身にまとう大名行列が有名ですが、ささやかな我が施設の「神輿」も棒を通せば担ぐ事がで

きます。8月末に行われた納涼祭では見事な姿で皆さんの喝采をあげました。職員の隠れた才能を垣間見た逸品です。

これからもご利用者様に喜んでいただけよう、季節を感じられる行事や雰囲気作りを大切にしていきたいと思えます。



Information

研修委員会の 新メンバーです!



事務長 三好 明德
(クレイン)

昨年度、研修委員に加えて頂きました。市原市のクレインで事務長をしております、三好明德です。不惑の四十を過ぎましたが、未だその境地には達せずにあります。そうは言っても、どうやら高齢社会は私の不惑を待ってくれるわけではなさそうですので、少しでも未来の社会が明るいものになるよう、自分が今できる事を確実にやり遂げていこうと心掛けています。

論語為政第二の四では、七十歳までの人間の在り方が記されていますが、今や平均寿命でもそれでは足りません。続きは私達が考えなくてはならないようです。技術も知識も、そのもつと大元にある部分も含め、この役割を通じて皆様と共に考えていければ嬉しいですね。

福祉車両のプロフェッショナルにお任せください。



URL: <http://www.ingenious.co.jp>
TEL. 048-257-2948

～ 営業内容 ～

- ▶ 福祉車両の販売・リース
- ▶ 架装部のメンテナンス
- ▶ 車検・点検・修理・板金塗装
- ▶ 各種損害保険
- ▶ 福祉車両の代車・レンタカー



福祉車両のどんなことでも

インジニアス株式会社

〒332-0031 埼玉県川口市青木 3-12-11

なののはな スマイル

明るく! 元気! 施設の笑顔をご紹介します!



■ クレオ

当施設は手賀沼を望む小高い丘の上にあり、全室個室でユニットケアを取り入れています。生活はユニットごとの少人数制となり、おひとりおひとりの生活のリズムや個性を尊重しつつ、他者との交流も図り、ご家庭での生活により近づけるように支援しています。

住所：我孫子市我孫子1855-4
電話：04-7179-7700
開設日：平成19年3月1日
入所：100名
通所：40名



その人の生活習慣や一日の過ごし方を大切にした介護が出来るよう頑張っています。

●クレオ
介護福祉士 下村 瑛子



■ 梨香苑

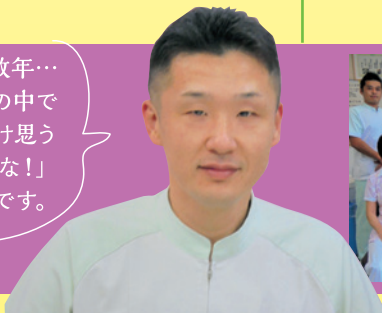
東松戸病院併設老健として21年が過ぎました。緑に囲まれ、中庭では四季折々の花に触れ、菜園ではご利用者様とともに野菜作りをしています。毎月の行事では季節感を味わえるよう趣向を凝らし、ご利用者様とご家族の参加も多く、皆様楽しんでいただいております。基本理念「私たちのすべての活動は人々のQOL向上のために」をモットーに職員一同サービスの提供を心がけております。

住所：松戸市高塚新田123-13
電話：047-391-5500
開設日：平成5年10月1日
入所：50名
通所：10名



夜勤が辛い年齢になり早数年…
多職種協働の中で
日々刺激を受け思う
「介護って楽しいな!」
天職です。

●梨香苑
介護福祉士 都丸 純二



老健ちばカレンダー

11月

・生活介護技術研修会
・感染症研修会

12月

・認知症研修会
・研究事例発表大会



●編集後記

- 「あっとほーむ習志野」へ行ってきました。小規模施設ならではのきめ細やかな関わりと取り組みで、利用者の方々が生き生きと暮らし、スタッフの皆さんも大きなやりがいを持って働いている姿が印象的でした。利用者の喜びが、スタッフの喜びであると強く再認識した取材でした。取材先のスタッフの方から多くの学びを得られる広報委員会は楽しいですよ(*^▽^*)(若林)
- 今年の夏は猛暑・大雨・落雷等の異常気象が話題となり、これから冬が近づき、ノロウイルス等の感染の季節になります。ノロウイルスに関して、数年前に当施設でも利用者様や職員が次々と体調不良になり、残された職員で対応をした辛い体験を思い出します。辛い経験を忘れてしまう職員もいるので「あんな経験は二度としたくない」と声掛けをし、手洗い・うがいの徹底をして、ノロウイルス等の感染には注意しようとする今日この頃です(一一一)>(福田)
- 長いようで短かった夏が終わり朝方はめっきり寒くなりました。子供(小1)も学校が始まり秋の装いで登校しています。この号が出るころには終わっていると思いますが、近頃の小学校には「秋休み」なるものがある事を最近知りました。いったい何時から始まっていたのか…(?_?) (河野)

- 夏から施設周辺の草刈りで格闘していましたが、ようやく過ごしやすい季節になり、少し楽ができそうです。将来的には施設の周りを遊歩道にしたいので、皆さんの施設で参考になる場所があったら教えて下さい。お待ちしております(*m__)m(神作)
- これから紅葉が見ごろの君津の山を、車で走っていたら、小鹿が道路脇で草を食べていました。珍しくなっついつい車を止めてしまいました。猿、狸は見たことがありましたが、鹿が見れるなんて!あらためて千葉の自然の豊かさを感じました(o^▽^o)(佐々木)
- 早いもので私の広報委員活動も、7年目を迎えました。その間、他施設を訪問や研修取材を通し、たくさん勉強させていただいております。今後ともよろしく願いたします(^o^)/ (坂本)
- 三年前の東日本大震災に続き、今回の御嶽山大噴火、専門家からは挙って「想定外」と言う言葉があがっています。確かに自然災害の場合は難しいかもしれません。大事なのは、その「想定外」の事が発生したときに、どう判断してどう対応するかです。私たち介護の現場においても、その事を十分認識しておく事が大切ですねo(^ ^)o(斎藤)